

2024年1月24日

## メディア・コンテンツの進化に取り組む専門組織 「メディア・コンテンツ・トランスフォーメーション室（MCx室）」を設置

株式会社電通（本社：東京都港区、社長：佐野 傑）は、メディアビジネス、コンテンツビジネスの進化と新しい創造・開発に取り組む専門組織「メディア・コンテンツ・トランスフォーメーション室（MCx室）」を、2024年1月1日付けで設置しました。新組織は、電通の各メディア部門（テレビ、ラジオ、新聞、出版、OOHなど）、コンテンツ部門、スポーツ部門、デジタル部門、ソリューション部門、クリエイティブ部門の専門人財で構成され、外郭のバーチャル組織も含めると総勢80名ほどが参画しています。今後MCx室は、顧客企業向けのメディア横断ソリューションの開発や、メディア企業・コンテンツホルダーの新規事業支援、新しいメディアの創出などに取り組んでいきます。

「MCx」は、2019年に当社の社内プロジェクトとして発足しました。マーケティングDXの必要性が高まる中で、従来の広告・マーケティング施策の進化に取り組んできましたが、近年はそれだけではなく、新しいソリューションやビジネスの創出が重要になり、広告の進化と新しいメディアビジネスの創出を支援してきました。また、多種多様なメディア、コンテンツの活用知見を社内で共有・横展開することで、これまでにない新しい施策の開発も推進してきました。

そしてこのたび、このような取り組みをさらに加速させていくために、当社は「MCx室」を正式な部署として設置しました。「MCx室」のミッション、提供サービスは以下の通りです。

### ① 広告の高度化 【主に広告主企業向け】

- ・メディアを横断した統合コミュニケーションを実現する商品の開発
- ・データドリブンなマーケティングを可能にする、メディア横断での計測指標やダッシュボードの開発
- ・購買行動のきっかけ（トリガー）となる最適なタイミングや因子を捉えた「トリガー広告」の推進

### ② 新しいメディアビジネスの創出 【主にメディア企業向け、メディア企業との協業】

- ・新しいテクノロジーやデータを活用した、メディア企業との新規事業開発
- ・メディア企業横断、各種メディア横断での新しいソリューション開発

### ③ コンテンツビジネスの変革 【主にコンテンツホルダー向け、コンテンツホルダーとの協業】

- ・エンターテインメントやスポーツといったコンテンツを活用したマーケティングソリューションの高度化や、より良い顧客体験接点としての価値の創出
- ・独自のエンターテインメント事業の創出や、データ基盤整備によるROIの可視化

④ 新しい顧客体験の場の提供 【主にコンテンツホルダー、広告主向け】

- ・今後生活者の興味関心がより高まっていくと思われるメタバースやゲームなどを含む3Dメディアの空間づくりの支援、コミュニケーション活動の場としての活用を支援

「MCx室」は、メディア企業、コンテンツホルダーなど社外のステークホルダーとともに、企業と生活者の最適な接点作りや、より良い顧客体験の創造を支援していきます。

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通コーポレートワン ブランディングオフィス 事業広報部

田中、宮田、藤田

Email : [jigyokoho@dentsu.co.jp](mailto:jigyokoho@dentsu.co.jp)